

# 庁舎整備の取組について

令和8年6月

総務部 庁舎整備課

# 目次

1	庁舎整備の取組について	3
(1)	新庁舎整備基本設計業務	4
(2)	文書管理適正化支援業務	43
(3)	令和8年度庁舎整備推進本部体制	45
(4)	庁舎整備事業全体スケジュール（想定）	51

# 1 庁舎整備の取組について

# 1 庁舎整備の取組について

## (1) 新庁舎整備基本設計業務

### ① 大津市新庁舎整備基本設計・実施設計業務について

- 委託金額** : 841,500,000円(税込)
- 委託期間** : 令和8年6月1日～令和11年3月30日
- 業務目的** : 「大津市庁舎整備基本計画(令和7年8月策定)」に基づき、皇子山総合運動公園(一部)において、敷地の特性を活かし、公園と一体となった新庁舎を整備することで、「交流の創出などによるまちづくりの効果」及び「防災拠点として防災力の向上」を目指し、基本設計・実施設計を行うことを目的とする。
- 業務内容** :
- ア 基本設計・実施設計業務
    - (ア) 基本設計・実施設計標準業務 (イ) 公園と一体となったランドスケープ計画検討
    - (ウ) 交通量調査・市道兼園路の予備設計 (エ) ZEB検討
    - (オ) 市民ワークショップ開催支援 (カ) オフィス環境検討/設計
  - イ 事業計画検討支援
    - (ア) 概算事業費及び財源の検討 (イ) 事業スケジュールの検討
    - (ウ) コストマネジメント
  - ウ その他検討推進に関する支援
- 発注方式** : 公募型プロポーザルによる随意契約
- 審査機関** : 大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会  
※大津市附属機関

# 1 庁舎整備の取組について

## (1) 新庁舎整備基本設計業務

### ② 設計事業者の選定経過について

月 日	概 要
令和8年1月13日	第1回大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会
令和8年1月20日	公募開始
令和8年4月2日	公募締切（2者から応募）
令和8年4月17日	第2回大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会 【1次審査＝書類審査】
令和8年4月25日	第3回大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会 【2次審査＝公開プレゼンテーション審査】
令和8年5月12日	選定委員会から市への答申
令和8年6月1日	委託事業者と契約締結

# 1 庁舎整備の取組について

## (1) 新庁舎整備基本設計業務

### ③ 公開プレゼンテーション審査の開催について

日 時 : 令和8年4月25日(土) 13:30~  
場 所 : 大津市役所新館7階 大会議室  
参 加 : 大津市民 83人(市内在勤・在学中の方を含む)

#### <参加者からの主な意見>

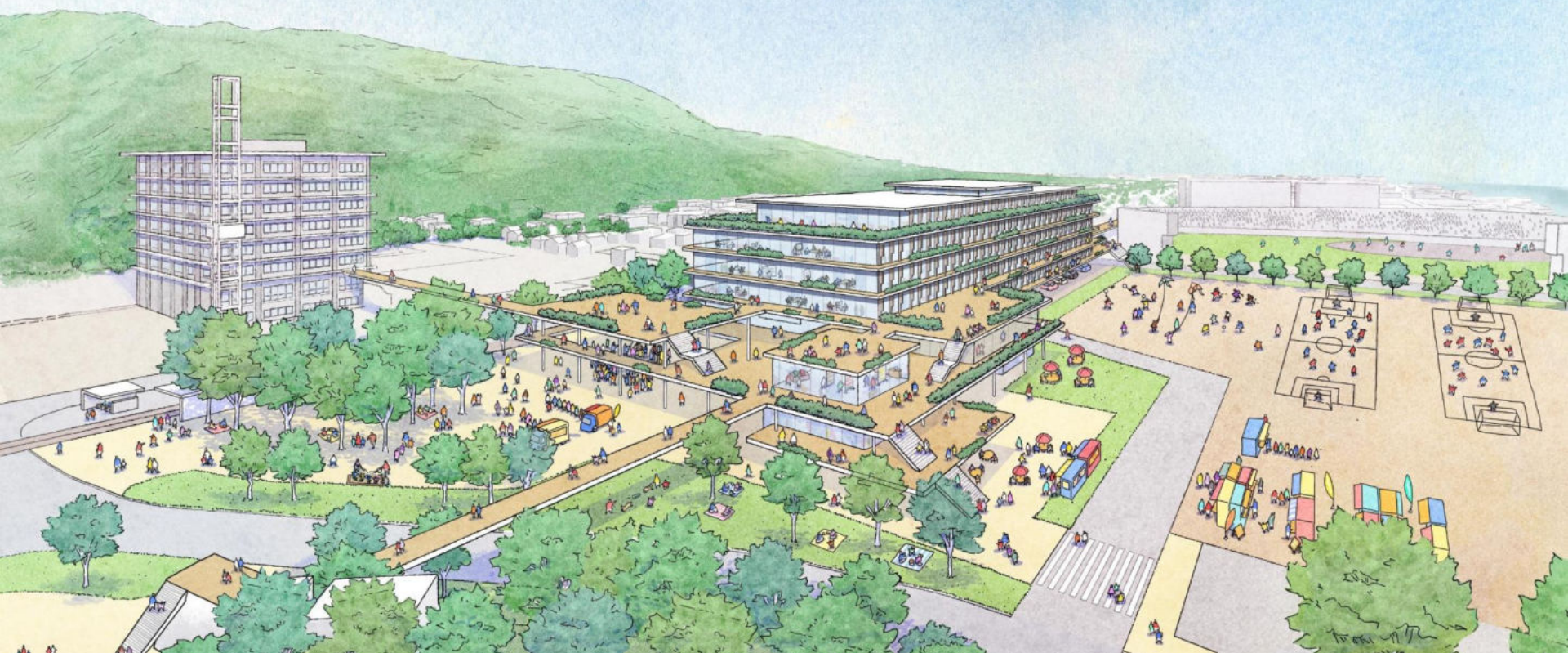
- ・有意義な時間でした。新庁舎に期待する気持ちが強まりました。
- ・老朽化やバリアフリーが十分でない現状の庁舎の状況から早期に新庁舎の整備を求める。
- ・大きすぎず、華美になりすぎず、市民が利用しやすい庁舎にしていきたい。
- ・今後のコスト管理が非常に重要で、限られた予算の中で重要な部分にこだわるべき。
- ・定期的なワークショップなど、住民の声を聞く取組を継続してほしい。
- ・災害時の市民スペースや物資の動線が重要。
- ・維持管理費や設備更新を見据えた余裕ある計画が必要。
- ・公園と一体となった整備や活用を期待。
- ・実効性のあるバリアフリー措置が気になる。
- ・市民デッキのアイデアは良いと思う。



#### ④ 設計事業者の提案内容について

大津の歴史風土が大切にしてきたものを引き継ぐ

**活動が生まれる 価値が育っていく**



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

## この場所で目指すべき姿

かたち

山の稜線を見せる“庁舎のかたち”

活動

低層部は活動を呼び起こす“市民の舞台”

連携

日常的な連携が図りやすい“執務空間”

かたち

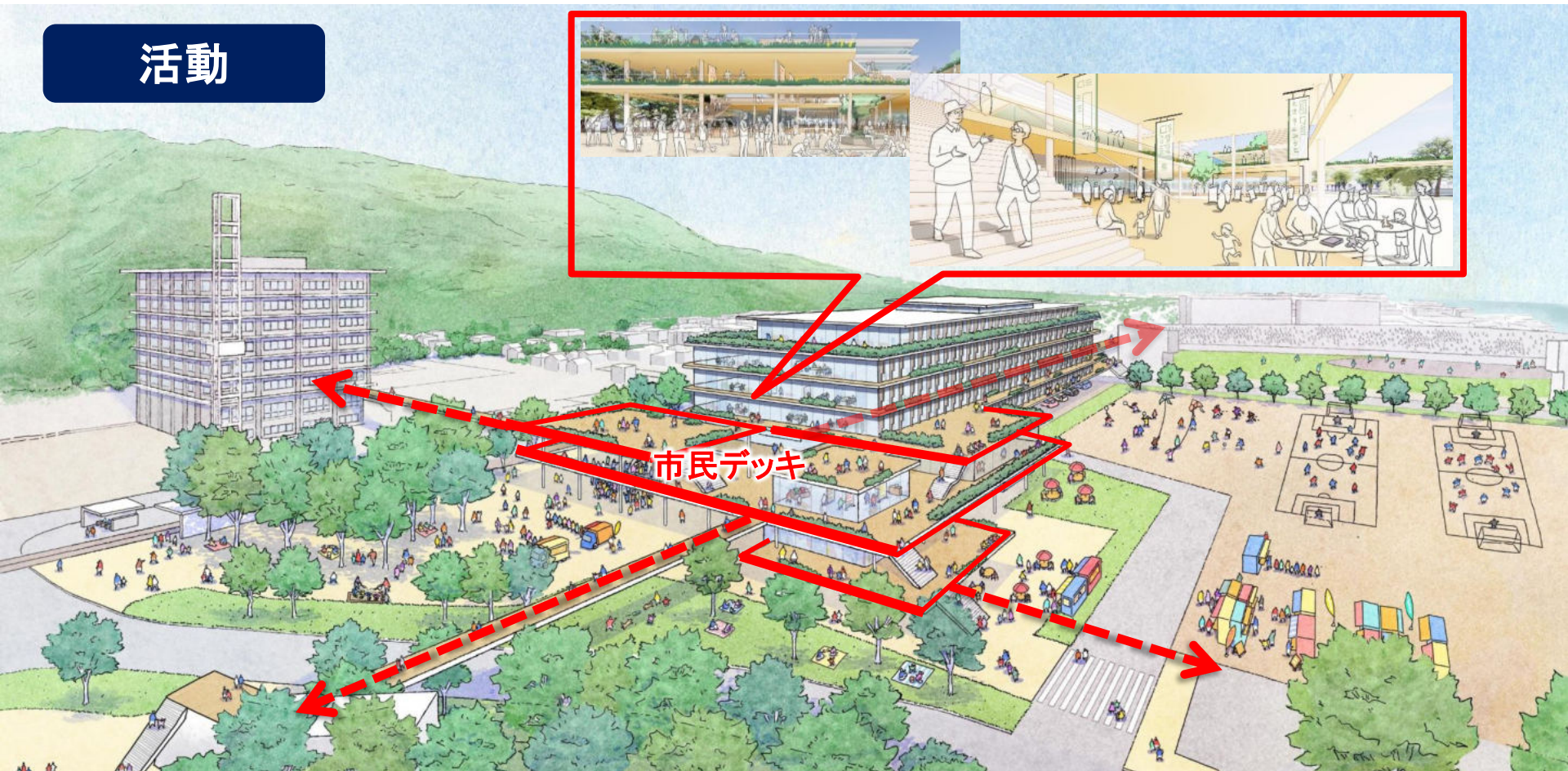
## 琵琶湖側から山への景観

### 庁舎の姿を小さく見せる



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

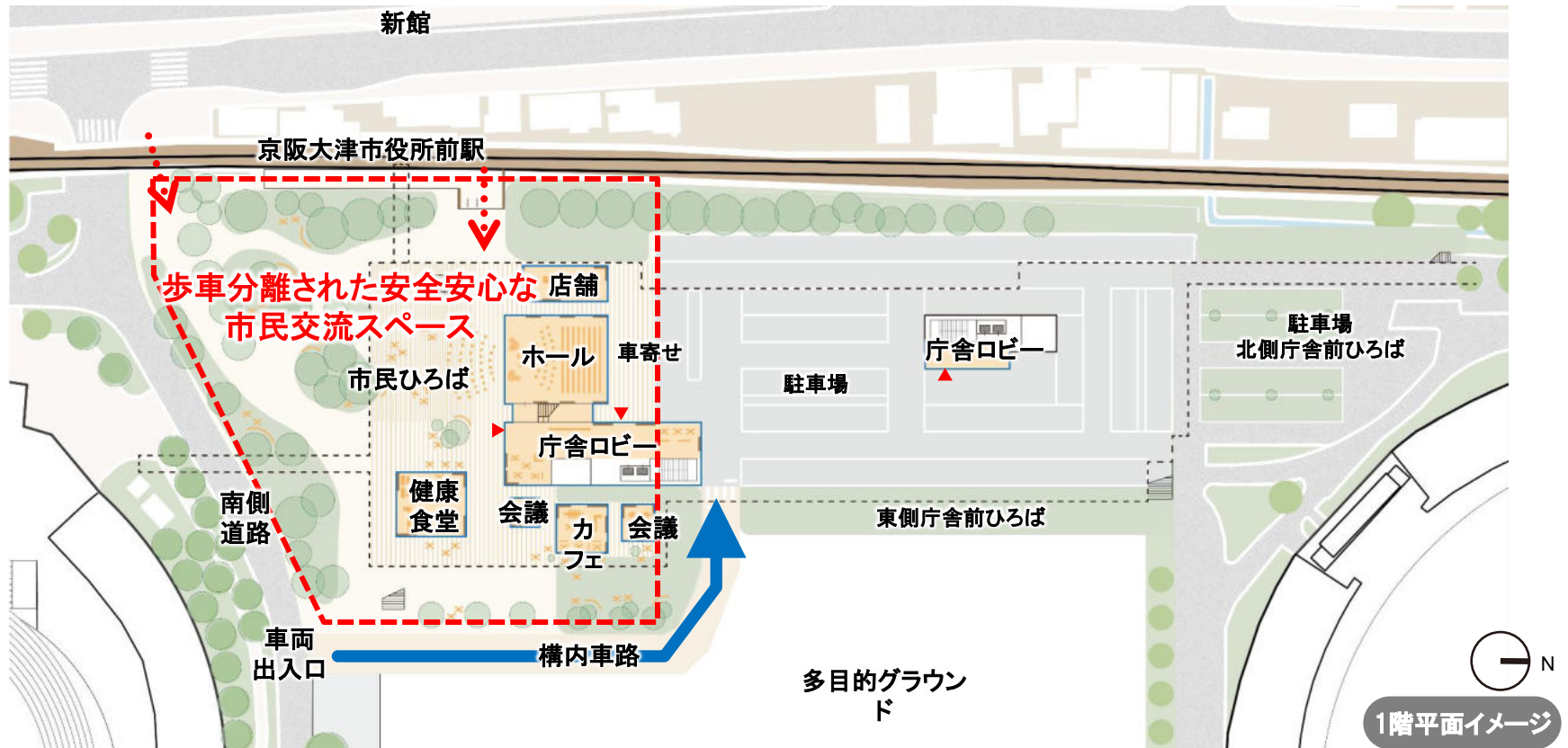
# 活動



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

**公園を引き込み、大津のまちの骨格を受け止める**

# 『市民キューブ』にぎわいの機能を配置 車両と市民交流スペースを歩車分離



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

# 企画提案書 3枚目

## I. 大津らしさと公園と一体となった環境に優しい庁舎

### 図案書① I. 大津らしさと公園と一体となった環境に優しい庁舎

#### 市民が集い、にぎわう立体的な公園 — 市民デッキ —

新庁舎の最上層には、立体的な公園となる『市民デッキ』とまとまりのある『市民ひろば』を設け、まちを囲む公園をつなぐ。あらゆる世代が集まる交流の場をつくり出す。全天候型の『市民ひろば』から、ホール・カフェ・健康食堂・庁舎の会議スペースまで、立体的な公園の中に設置され、公園を散策する延長に、庁舎窓口のサービスを受けられる、気軽に立ち寄れる新庁舎となります。

■ 公園と連続した庁舎敷地が広がるイメージ

■ 長等山の山裾からつながり、琵琶湖を望む、自然を取り込む庁舎

#### 2 長等山の山裾からつながり、琵琶湖を望む、自然を取り込む庁舎

【計画の前提】長等山は自然環境が豊かで、市民の憩いの場として活用されています。

① 長等山の山裾と連続する『市民デッキ』

- ・ 最上層は外壁をセットバックし、全体のボリューム感を抑えつつ、階下の止まり場の見え方に配慮した庁舎とします。
- ・ 中層部は階層の段状の株により庁舎ボリュームの圧迫感をやわらげます。外観は水平線を基準に、趣のある長所をつくり、壁感を軽減します。
- ・ 低層部に緑の基礎を設けます。

② 遊歩道や三井寺おろしを結ぶひろば空間

- ・ 庁舎の広さ・幅の形状の工夫、階層間の分散配置により、大津市街の活気ある三井寺おろしを創出します。
- ・ 市民ひろばは軒下空間とすることで、涼風を享びやすい快適な空間をつくり出す。風の差を和らげる建築物形状により、敷地内のひろばや公園の環境に馴染みます。

③ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

【計画の前提】自然環境と連続する庁舎のイメージ

④ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑤ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑥ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑦ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑧ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑨ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑩ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑪ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑫ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑬ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑭ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑮ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑯ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑰ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑱ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑲ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

⑳ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉑ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉒ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉓ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉔ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉕ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉖ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉗ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉘ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉙ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉚ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉛ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉜ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉝ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉞ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㉟ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊱ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊲ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊳ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊴ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊵ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊶ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊷ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊸ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊹ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊺ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊻ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊼ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊽ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊾ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

㊿ 自然環境と連続する庁舎のイメージ

1 『市民デッキ』が重なり合う低層部のウォカブルな市民の交流の場

① 多世代交流の『市民デッキ』と全天候型の『市民ひろば』

- ・ 立体的な公園『市民デッキ』を構築します。景観に馴染した緑の基礎デッキとし、1階・2・3階へ連続的にアクセスできる階段とします。さらに、階段・緑と緑技術・大津市駅と接続するブリッジをつなぎ、公園とまちを結びます。
- ・ 庁舎最上層は2階以上に集約し、南側連続して雨天時利用できる公園と連続した『市民ひろば』を確保します。ホール、健康食堂、観光案内などを備え、多世代の交流を促す『公園一体の拠点』として、大津のまちづくりを牽引します。

② 多層階の『市民キューブ』が市民の居場所を創出する

- ・ 各機能を併せたタイプの『市民キューブ』を『市民デッキ』の下に配置します。
- ・ 『市民キューブ』は自然に切りやれ外部にも開放でき、『市民ひろば』と公園に連続した、にぎわいがまちにあふれ出す仕掛けをつくります。

③ スポーツ公園と一体の遊歩道づくりの拠点となる『市民ひろば』『市民デッキ』

- ・ 『市民ひろば』と『市民デッキ』は、グリーンランドの機能を兼ねて促される場とします。赤土やびわ湖マツソンのサービスタワーなど公園と一体に確保します。
- ・ 『市民デッキ』はグリーンランドが一望できるスポーツの観戦スペースとなります。

④ 子育てや学生の居場所となる市民交流スペース

- ・ 多目的に使える『市民ひろば』『市民キューブ』を、子育てサークルや学習スペースにも活用し、子ども、学生の多様な居場所を創出します。
- ・ 『市民キューブ』の活用で市民の交流の場を創出します。
- ・ 『市民デッキ』は将来の用途変更・拡張・増設での変化に対応しやすい計画とします。『市民デッキ』の天井内に設備ルートを架設し、将来を見据えた計画とします。スポーツ公園としての遊歩道の高層多目的に活用可能なスタジアム、電柱塔などにより、多世代が交流できる環境を創出できるスペースとします。

⑤ 市民の交流の場を創出する

⑥ 市民の交流の場を創出する

⑦ 市民の交流の場を創出する

⑧ 市民の交流の場を創出する

⑨ 市民の交流の場を創出する

⑩ 市民の交流の場を創出する

⑪ 市民の交流の場を創出する

⑫ 市民の交流の場を創出する

⑬ 市民の交流の場を創出する

⑭ 市民の交流の場を創出する

⑮ 市民の交流の場を創出する

⑯ 市民の交流の場を創出する

⑰ 市民の交流の場を創出する

⑱ 市民の交流の場を創出する

⑲ 市民の交流の場を創出する

⑳ 市民の交流の場を創出する

㉑ 市民の交流の場を創出する

㉒ 市民の交流の場を創出する

㉓ 市民の交流の場を創出する

㉔ 市民の交流の場を創出する

㉕ 市民の交流の場を創出する

㉖ 市民の交流の場を創出する

㉗ 市民の交流の場を創出する

㉘ 市民の交流の場を創出する

㉙ 市民の交流の場を創出する

㉚ 市民の交流の場を創出する

㉛ 市民の交流の場を創出する

㉜ 市民の交流の場を創出する

㉝ 市民の交流の場を創出する

㉞ 市民の交流の場を創出する

㉟ 市民の交流の場を創出する

㊱ 市民の交流の場を創出する

㊲ 市民の交流の場を創出する

㊳ 市民の交流の場を創出する

㊴ 市民の交流の場を創出する

㊵ 市民の交流の場を創出する

㊶ 市民の交流の場を創出する

㊷ 市民の交流の場を創出する

㊸ 市民の交流の場を創出する

㊹ 市民の交流の場を創出する

㊺ 市民の交流の場を創出する

㊻ 市民の交流の場を創出する

㊼ 市民の交流の場を創出する

㊽ 市民の交流の場を創出する

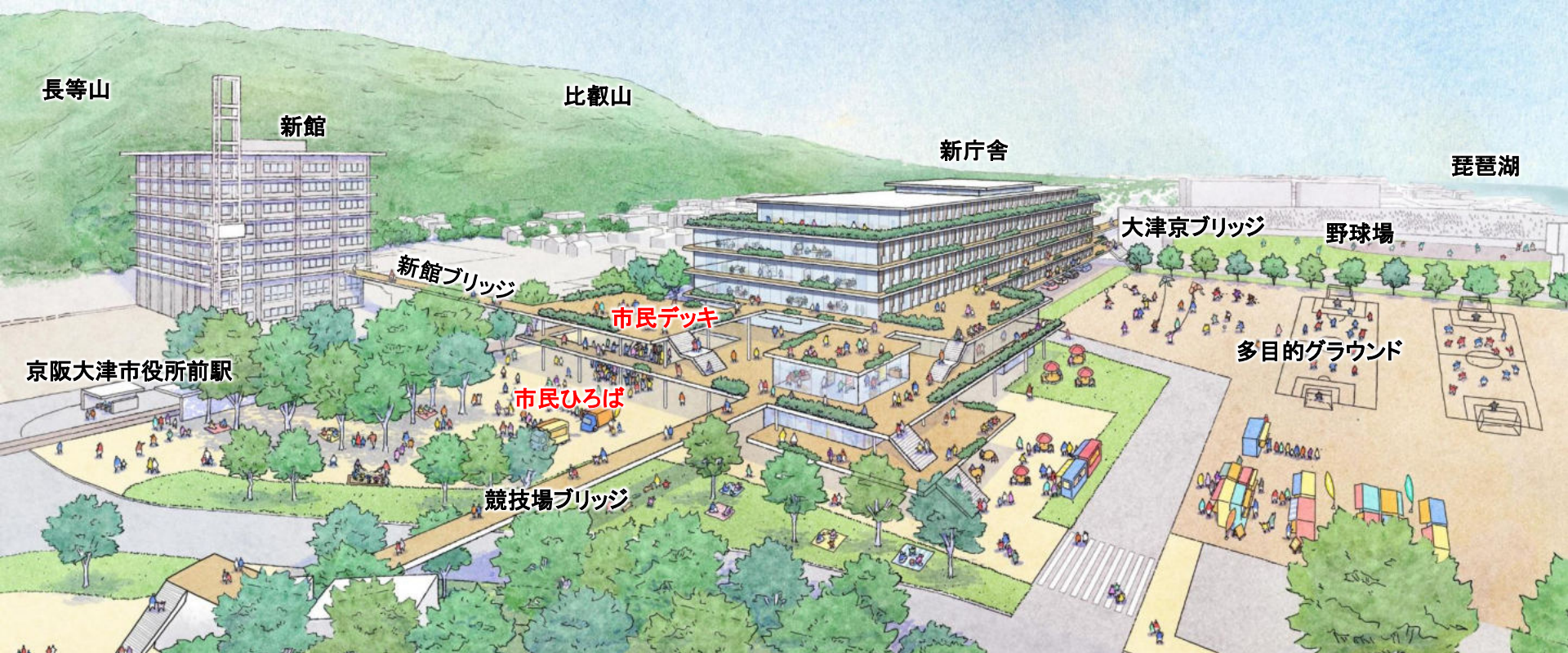
㊾ 市民の交流の場を創出する

㊿ 市民の交流の場を創出する

① 『市民デッキ』が連続する健康・育み・歴史文化のウォークネットワーク

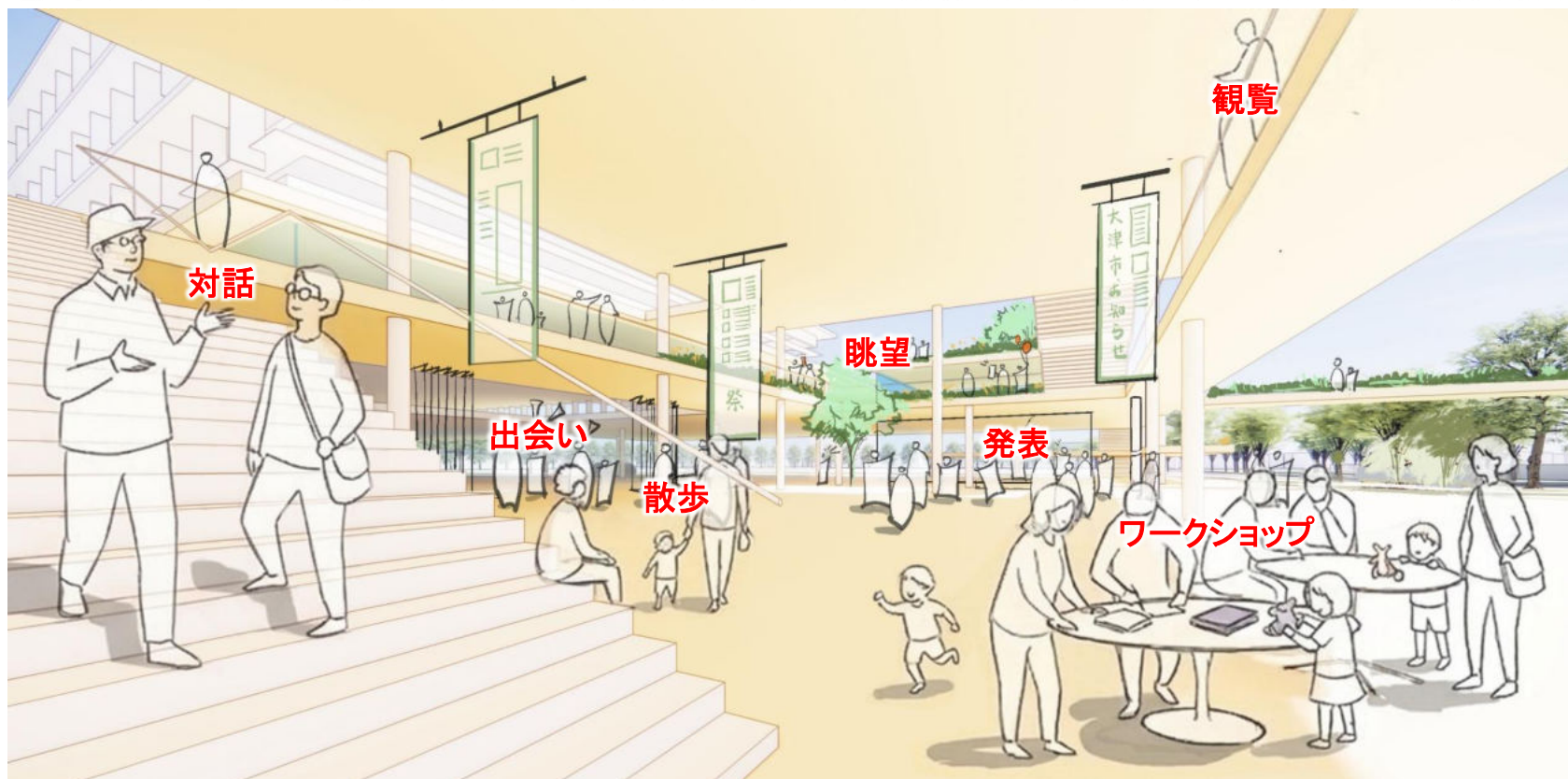
- ・ 由来のまちの発展や健康に役立てるべく、市民デッキを軸に健康ウォークネットワークを創出します。公園内外のウォークネットワークをつくり、まちの個性性を高めます。

# 立体的な公園となる『市民デッキ』と、まとまりのある『市民ひろば』



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

# 『市民ひろば』多様な市民活動が重なり合う、まちづくりの拠点



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

## 市民ワークショップで市民の皆様のご意見も取り入れる



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

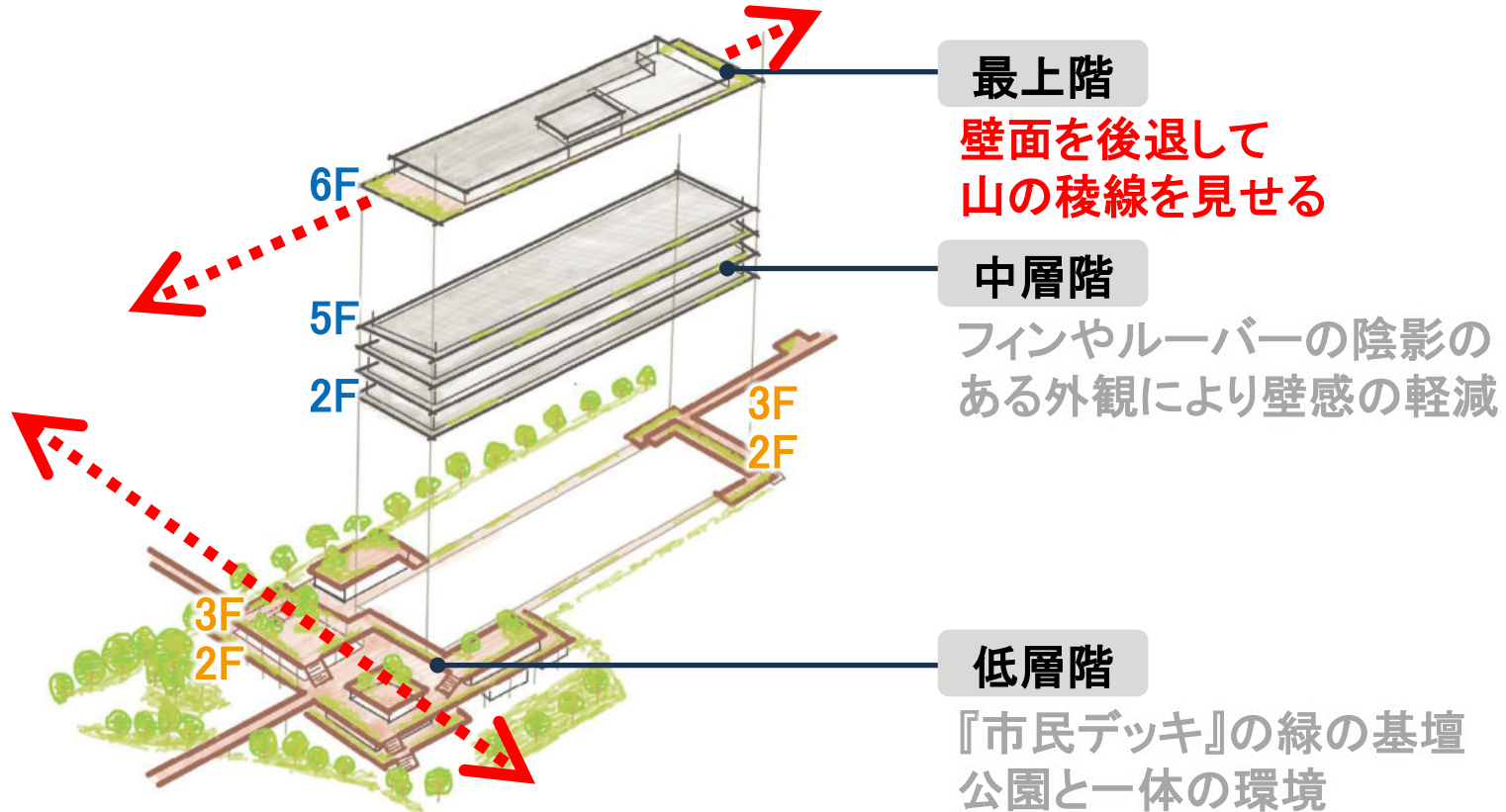


## 四周の自然を捉えた庁舎



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

# 景観に配慮した建物構成



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

# 企画提案書 4枚目

## II.災害時に機能する防災拠点としての庁舎

**提案書④ Ⅱ 災害時に機能する防災拠点としての庁舎**

**連携しやすさがつくり出す開かれた防災拠点 - 日々の使われ方が災害時も活きるフェイスフリーな庁舎 -**

公共施設が集積する立地特性を活かし、新庁舎と周辺エリアが日常から連携する計画とします。「市民デッキ」やビロイ駐車場により施設間の融通性と機能的共有を促進し、災害時には避難拠点と機能した防災活動拠点へと転換します。交通・情報・支援の受け入れ体制を備え、周辺と一体で機能するネットワーク型防災拠点を形成します。

**【計画】** 新庁舎、旧庁舎、駅前広場、公園

**【防災】** 新庁舎、旧庁舎、駅前広場、公園

**2 公園とともに機能する“防災一体型庁舎” 日常と非常時をつなぐ安心の拠点形成**

①災害支援を受け入れる公園と一体のフェイスフリー庁舎

- 1階市民ひろば：1階市民ひろばに食堂、カフェ、会議室、ホール等を複合配置します。災害時には、食事はもちろん、案内取次機能に、ホールは待機機能の場とします。市民の支援等に活用可能な計画とします。
- 2階市民ひろば：2階市民ひろばは、公園から支援物資を運入し、倉庫並みを行い、庁舎・公園・大ホール相互も連携し、防災・支援活動を支える場へと転換します。

②災害対策機能のセキョリタイ一層時

- 2階以上の災害対策エリア：災害支援活動（市民対応スペース）を1階に集約できるため、2階以上を災害対策エリアとし、防災活動上の融通性を高めます。
- 災害対策機能の連携：3層は新設ブリッジを利用し、企業層が入居する新設と既存が連携可能とします。
- リエンスベース：2・3階のリエンスベースは、災害時もアクセスしやすいため「市民デッキ」に位置する計画とし、外部関係との連携拠点として連携します。

③ライフライン連絡網の電力と給排水機能の多様化

- 非常用燃料の多角化：非常用発電機(油)、マイクログCS(再生ガス)、太陽光発電等非常用電源を多角化します。
- 給排水機能の多角化：給排水は井水を使用、ビット水構に備蓄します。トホは受水構に備蓄すると共に、公園の耐震性の水構との連携も検討します。
- 給排水の起見：使用量を監視し、災害発生直後時点で、油・給排水・トホの確保が長期化する場合は、利用箇所を監視する等の対応や即時断水の機能を付与します。

④庁舎と公園の一体化による防災拠点

- 公園の災害対応策：太陽光発電能力や、コジェネ能力を公園に備給し災害時に活用可能とします。
- 地震発生から避難に使用：構造ヘルメスモニタリングシステムにより、地震発生から計画・断水・断電、断熱断水断電を即時に行い、使用後対応可能な計画とします。

**あらゆる災害に対応した堅固でベストバランスな防災拠点**

①高さを抑えた屋根に耐震も建物構成が安全性を高める

バランスのよい免震構造：免震上層構造の高さを抑えた建物形態は、地震発生の揺れを約1/10の揺れに低減し、構造バランスを高め、災害発生時のバランスの良い建物形態により、地震発生後も庁舎継続使用に備えた安全な計画とします。

②経済性に優れ、万が一の災害まで対応可能な柱梁免震

グラウンドレベルで連携しやすい免震構造：1階をピロティ空間とした柱梁免震を採用することで、1階外周部の免震スパンランションジョイントが構造となり、ピロティと多目的グラウンドを連携させた防災活動スペースのスムーズな一体利用を可能とします。

③水浸ししない空間計画：万が一の浸水や土砂の流入においても免震装置に水や土砂が入らず、防災活動を継続します。

④合理的な構造部：芯部部の「市民デッキ」は、鉄骨造と芯部部を合わせた鉄骨造と耐震構造とし、高い電気的安全性を確保します。耐震構造とすることで、前後ブリッジなど並列部との接続部を単純化し、地震時の可動部の大きな免震スパンランションジョイントをなくします。

⑤日常の使われ方と災害時の安全性が両立した地盤面の設定

水浸ししないレベル設定：庁舎の1階レベルは多目的グラウンドの地盤面より約5m高く設定し、浸水を防ぎ、避難者や支援物資の搬送を安全に確保します。

⑥防災拠点としての確保：既設新設には耐震や圧縮保全を確保し、万が一の長等山の土砂災害や流入を防止します。災害時の避難者や物資搬送も確保、避難者の防災活動ルートを確保に確保します。

⑦災害対策本部と消防隊の協働による即応連携の強化

同一フロアでの連携：技術系部署を災害対策エリアの同一フロアに配置し、非常室中心に連携の抜けと応急対応を確保、迅速な対応を確保します。

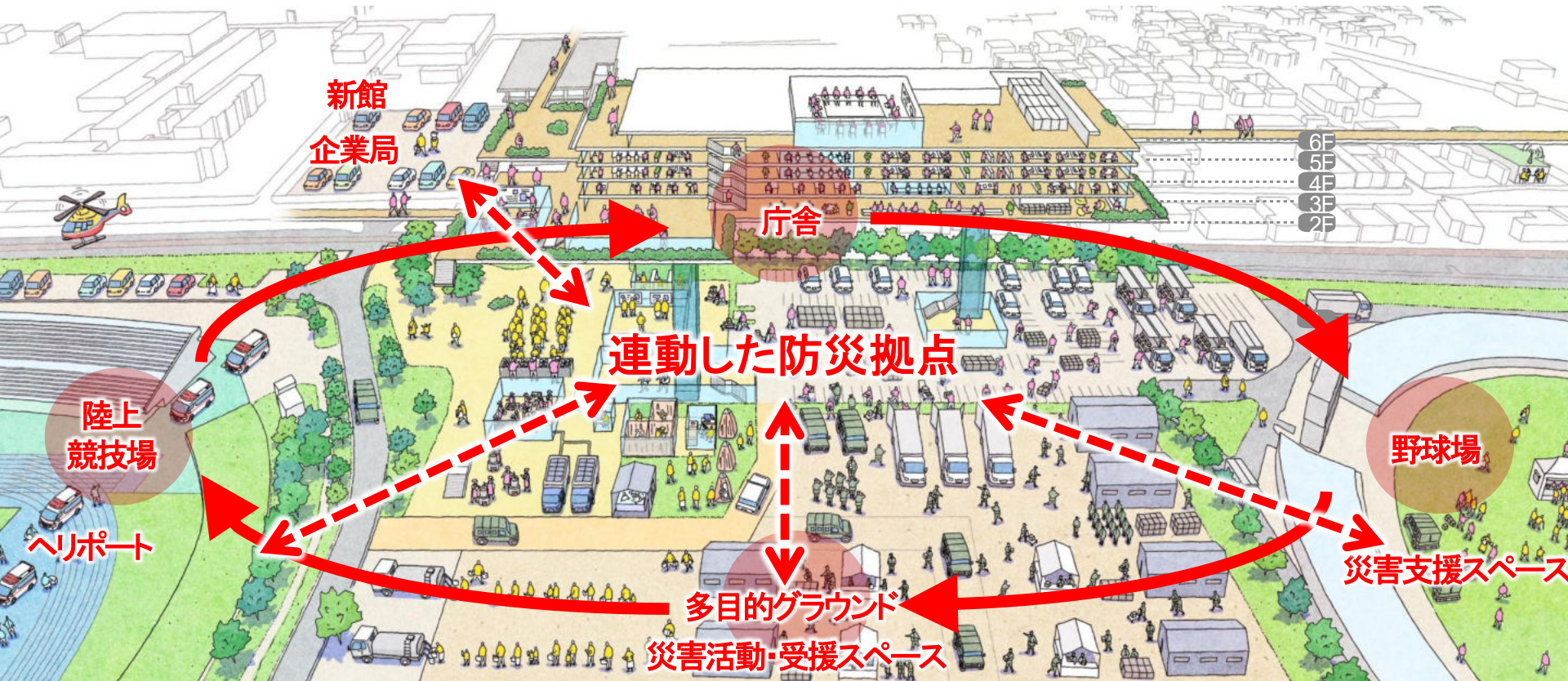
⑧特別区（市、町、村）の災害対策本部：消防隊の災害対策本部・消防長の特別エリアを配置、災害対策本部への迅速な移動を確保します。

**【防災】** 新庁舎、旧庁舎、駅前広場、公園

**日々の庁舎の使われ方が災害時も生きる**

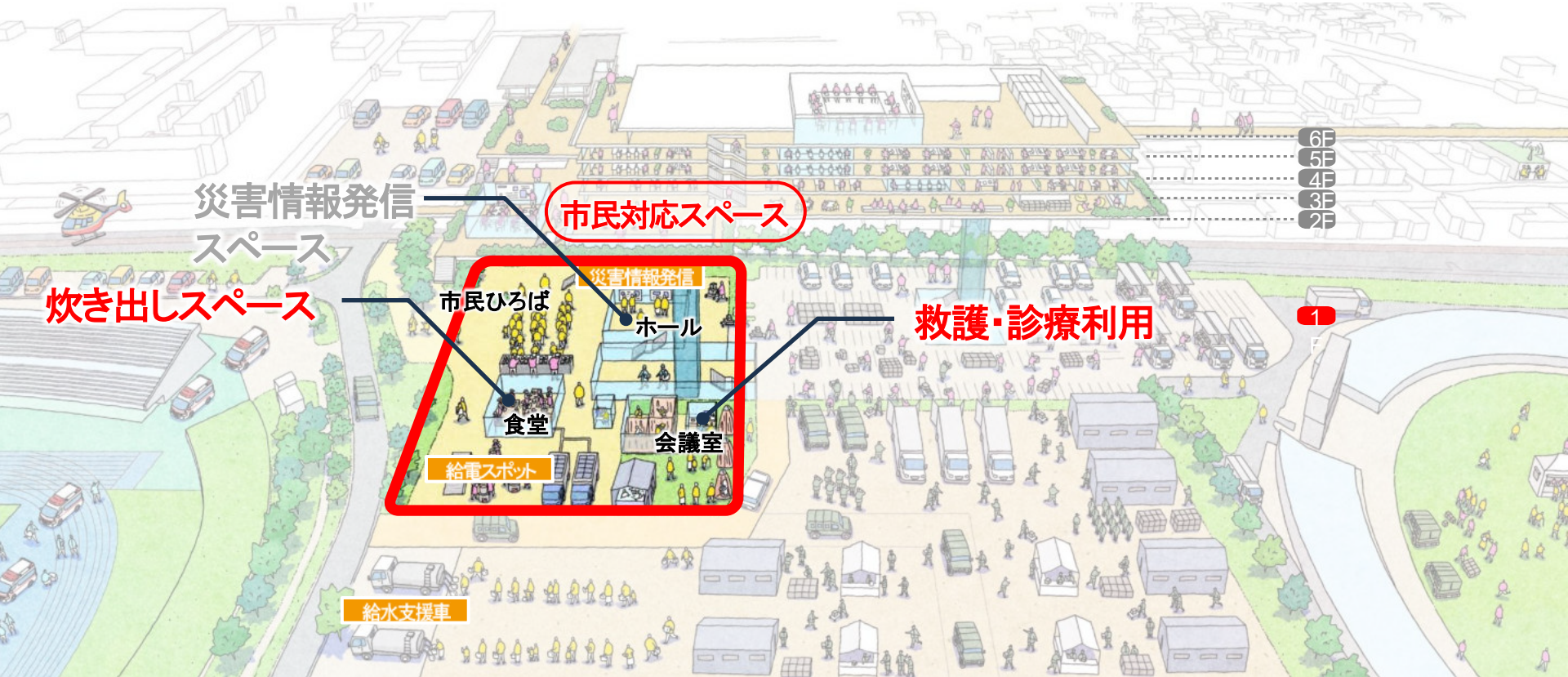
**フェイズフリーな庁舎**

# 公園全体と連動した防災拠点



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

# 市民交流スペース → 災害情報発信・炊出し・救護



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

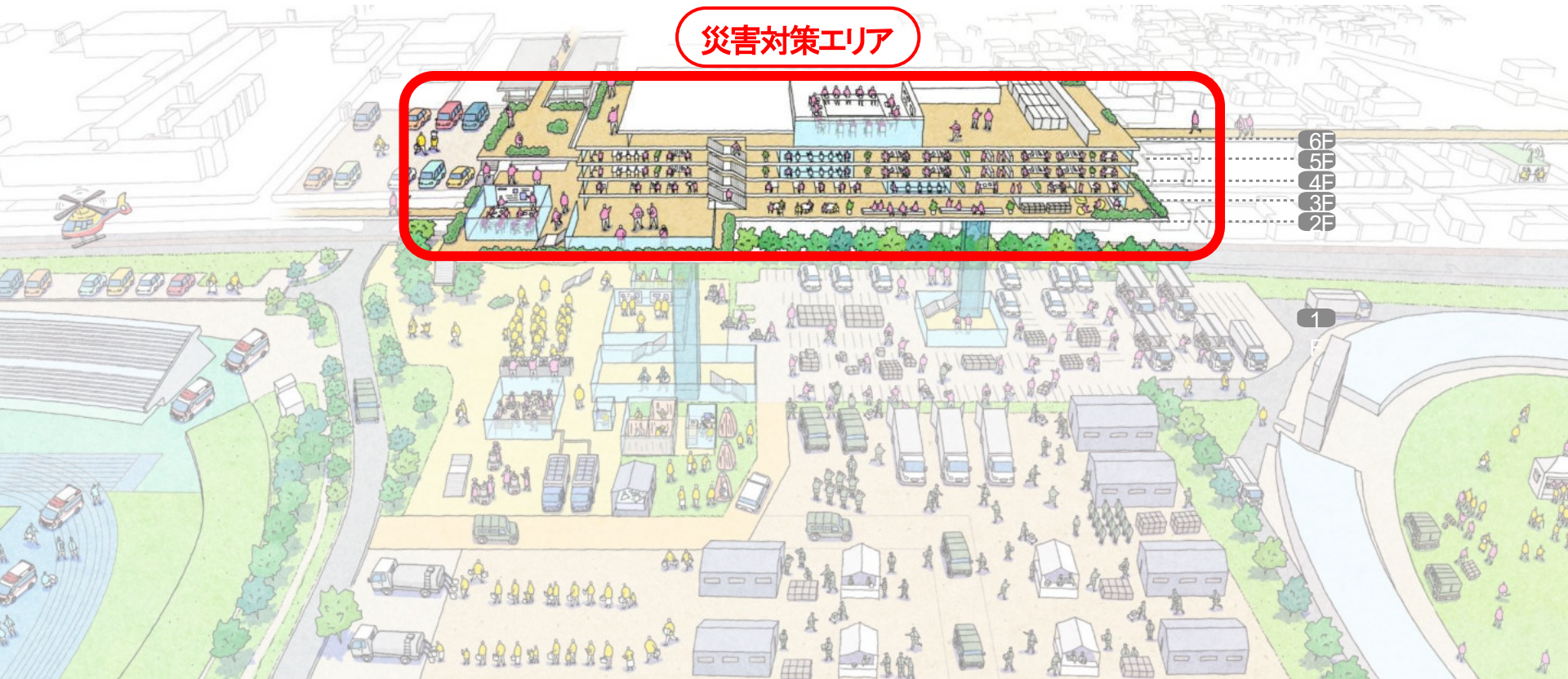
# ピロティ駐車場 → 物資の受入から搬送



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

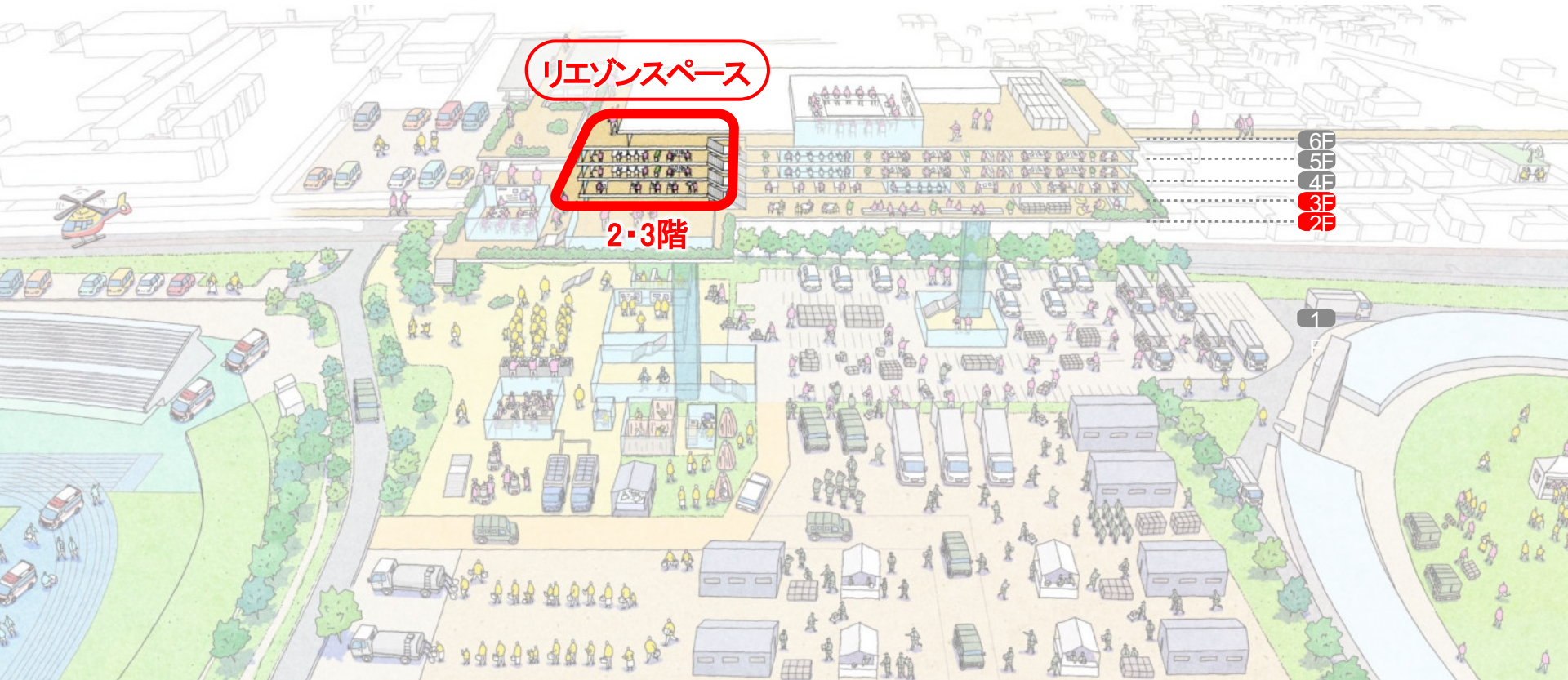
## 2階から上は災害対策エリア

災害対策エリア



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

# 市民協働 → リエゾンスペース



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

## 4階 災害対策本部室を中心とした配置構成

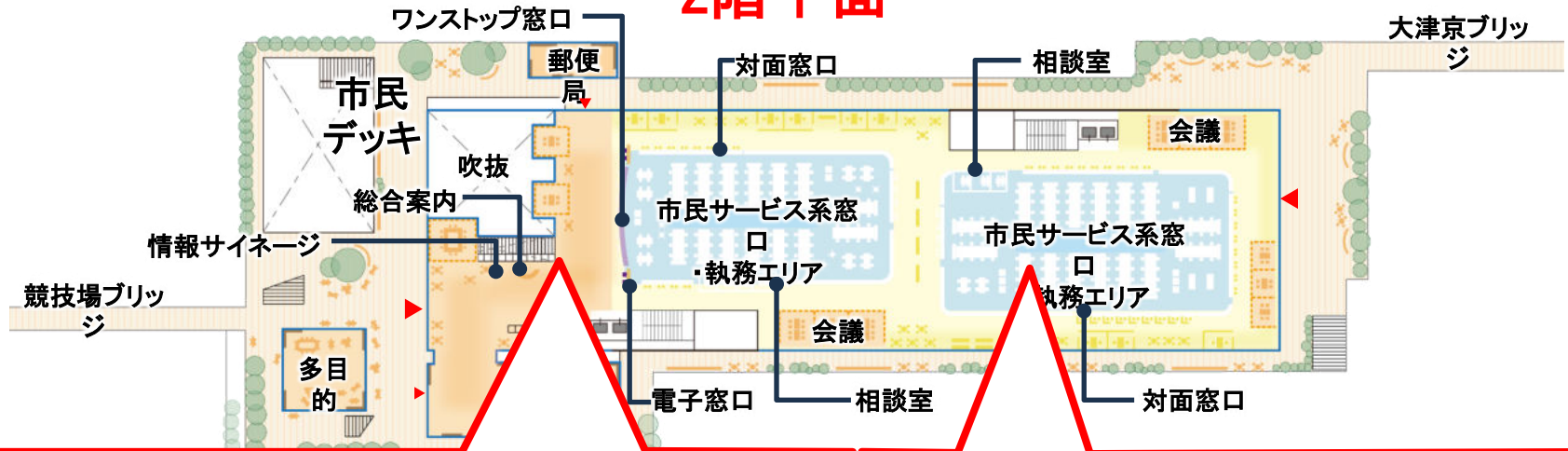


※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

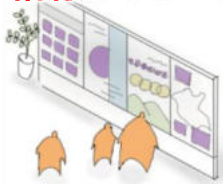


# 市民に親しまれる・市民サービスの向上の視点

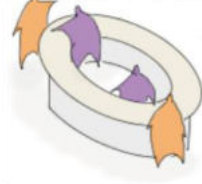
## 2階平面



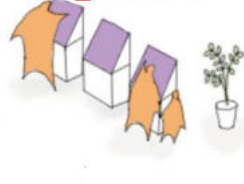
情報サイネージ



コンシェルジュ



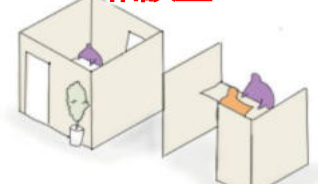
電子窓口



対面窓口



相談室



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。



大津の自然エネルギーの活用

公園と一体にエネルギーの創エネ

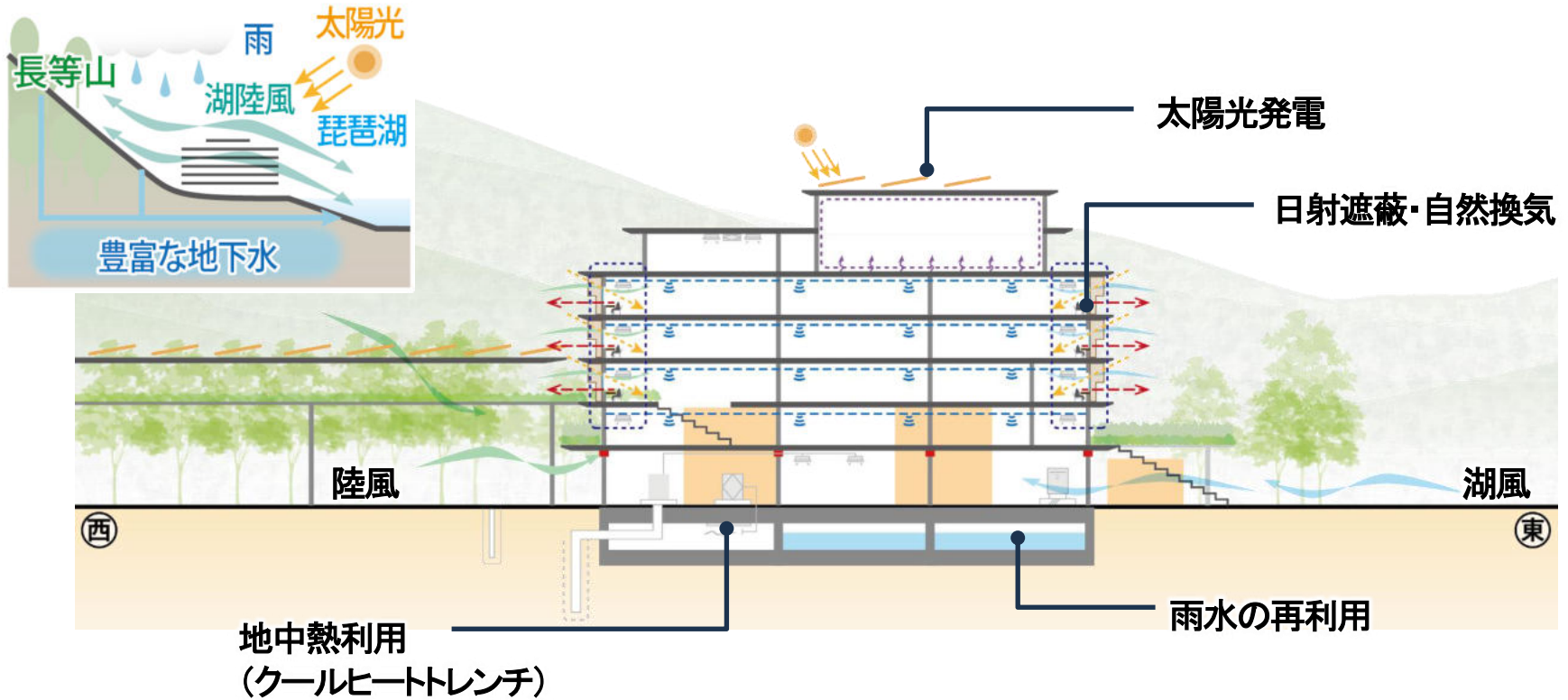
ZEB Readyを達成



NearlyZEBを目指す

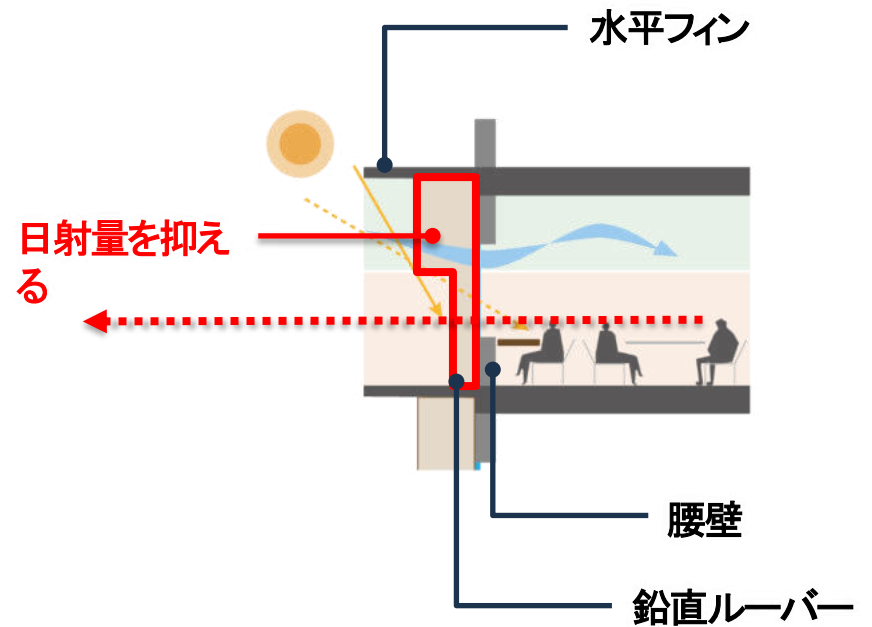
※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

# 自然環境を活かした環境親和型庁舎



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

## 東西面 景観の取り入れと日射制御



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。



## コスト削減のポイント

ポイント1

高さと間口を調整する

ポイント2

間口と奥行の調整による免震装置の縮小

ポイント3

免震構造と一部耐震の併用で合理的な構造形式

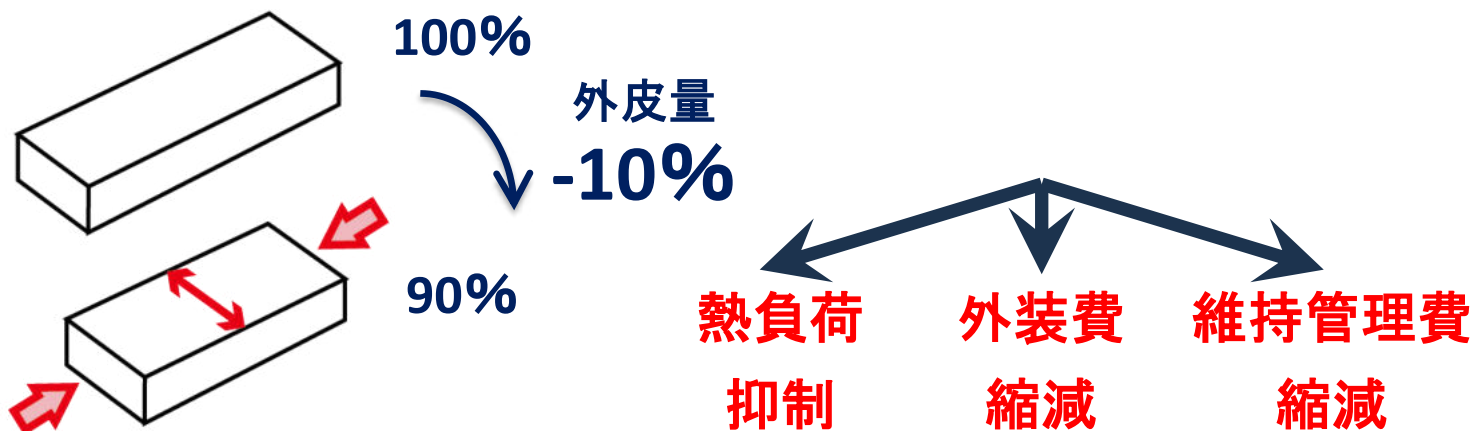
## コスト削減 ポイント1

# 高さの間口を調整する

基本計画

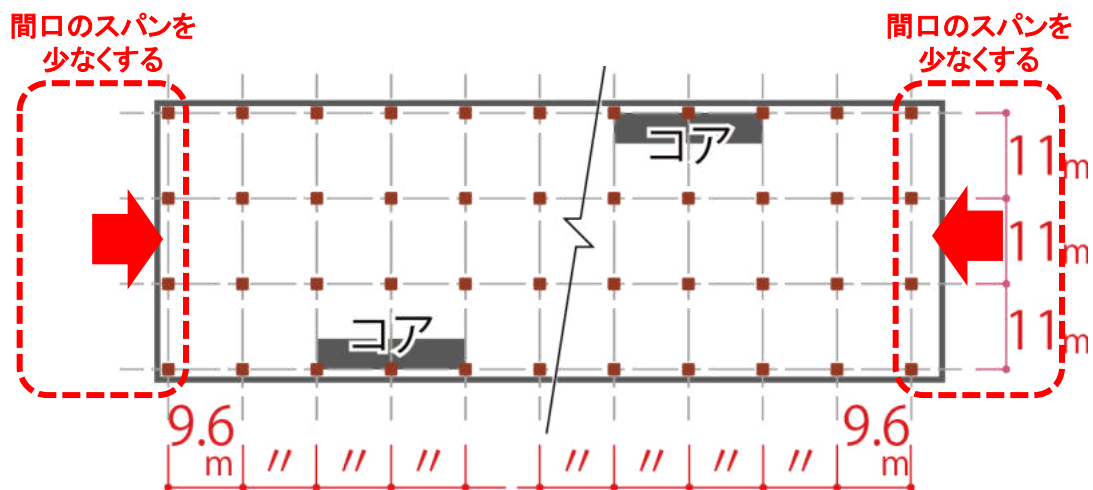


提案



## コスト削減 ポイント2

# 間口と奥行の調整による免震装置の縮小



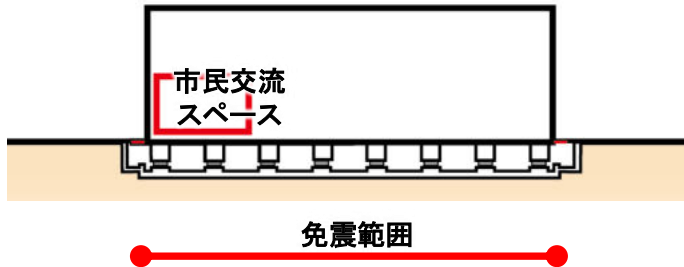
※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

# 免震構造と一部耐震の併用で合理的な構造形式

基本計画

すべて免震

免震装置 **増** マンテナンス性 **低**



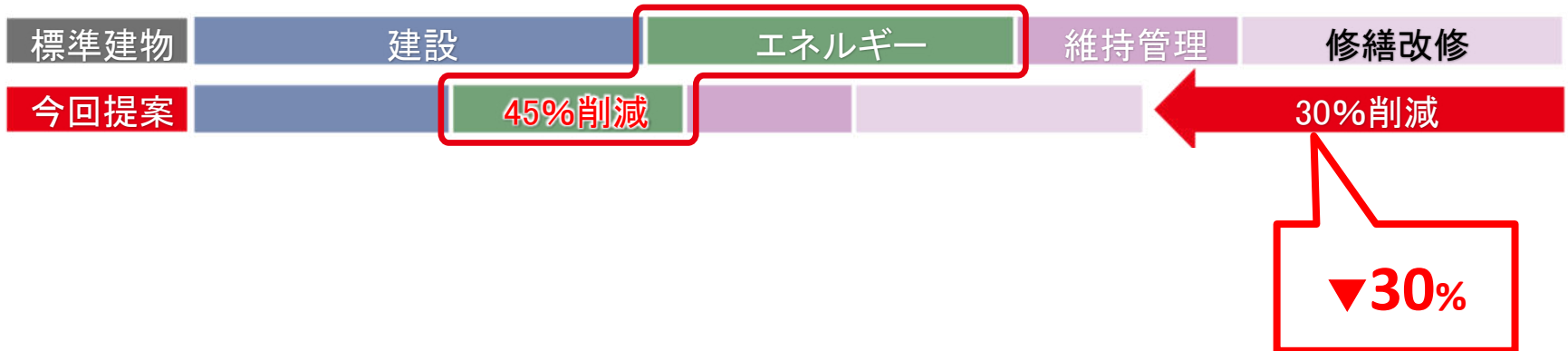
提案

耐震+柱頭免震

免震装置 **減** マンテナンス性 **高**

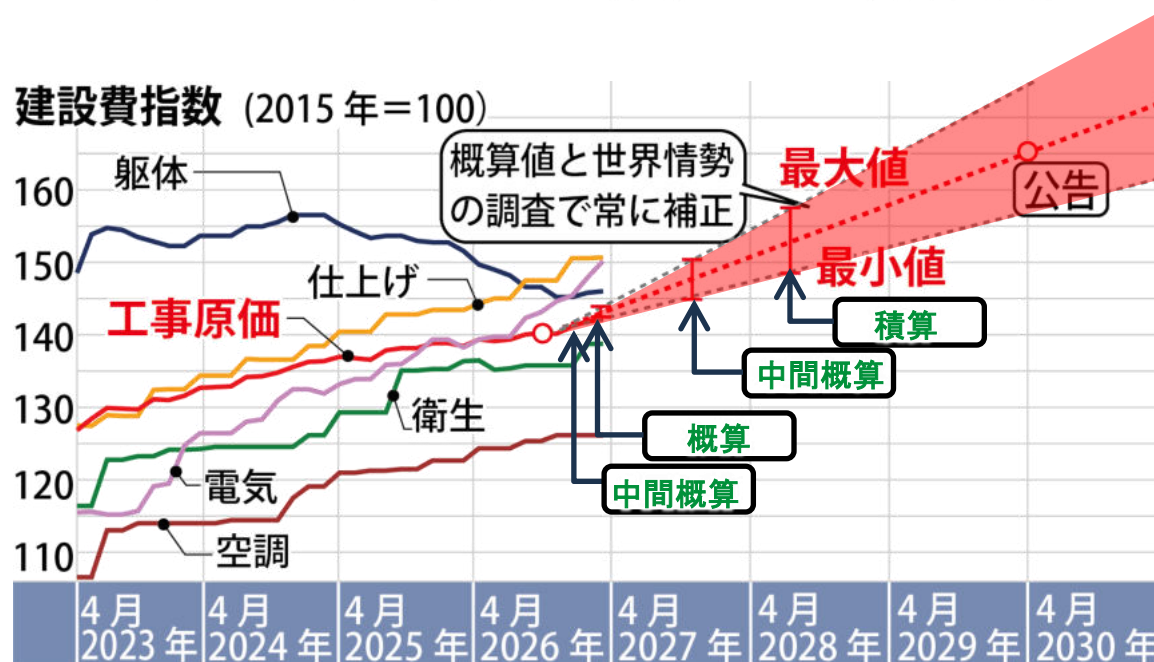


## 建設・運用・維持管理でLCCを30%削減



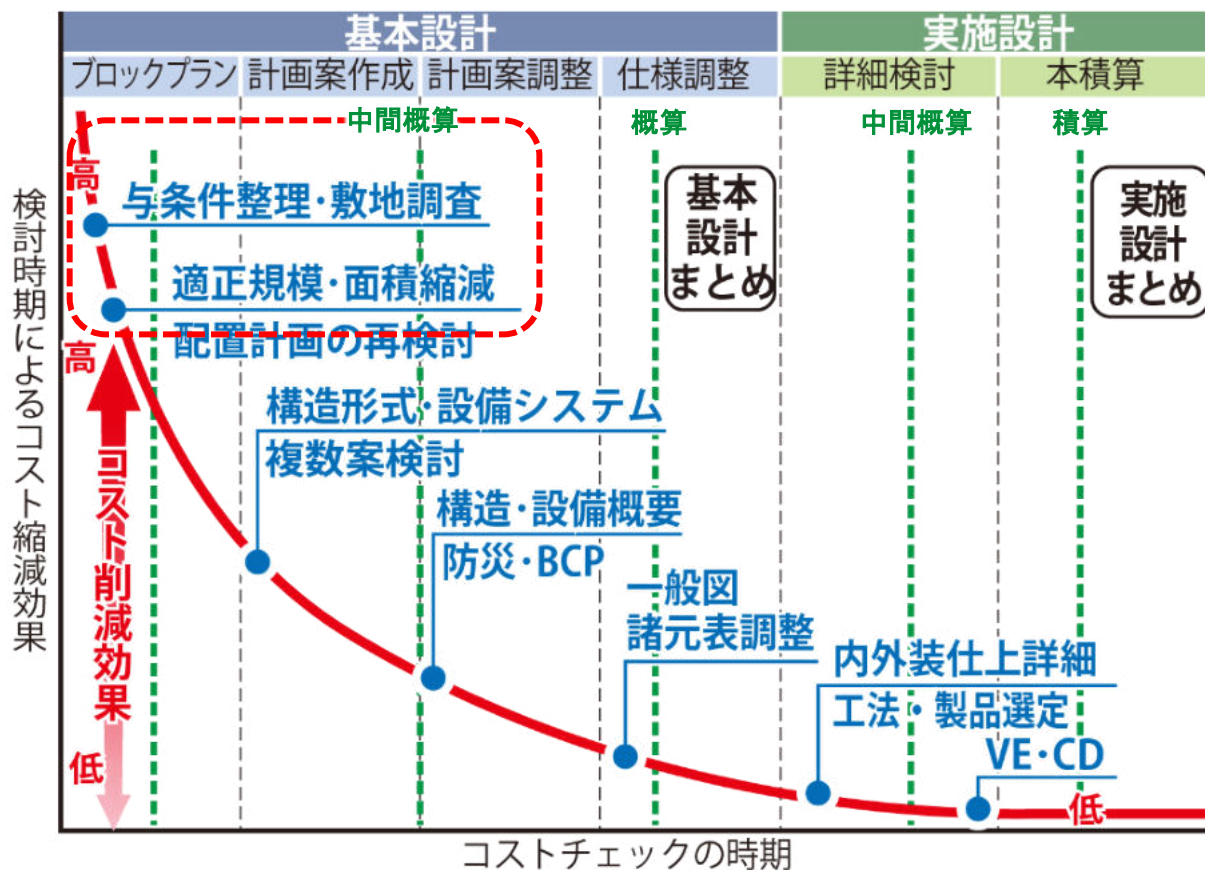
※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

# 今後も引き続き建設費は上昇傾向



※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

# 設計初期から適正規模やコスト削減効果の大きいものを検証

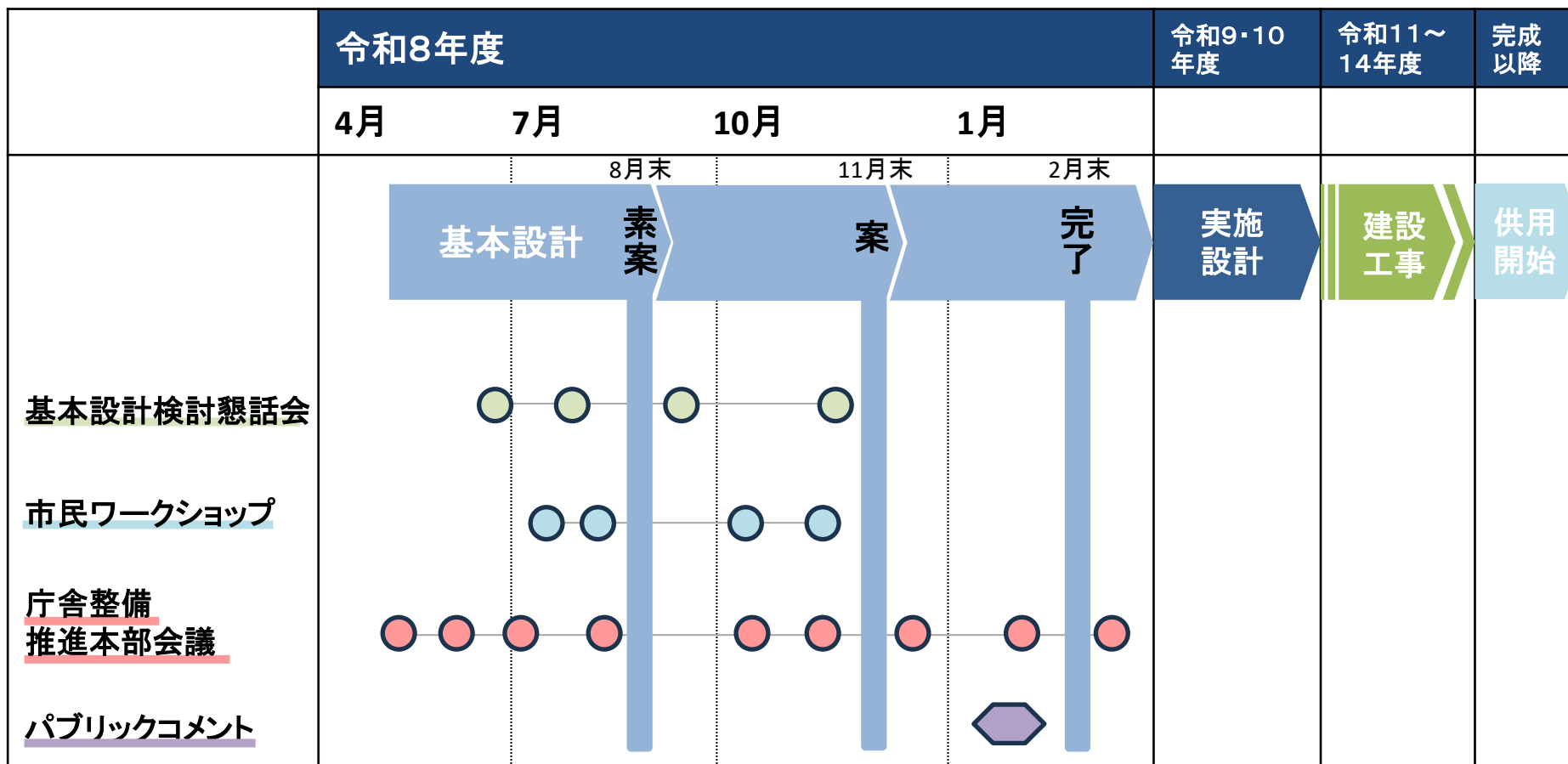


※これは事業者の提案です。この提案を基に、基本設計を行います。

# 1 庁舎整備の取組について

## (1) 新庁舎整備基本設計業務

### ⑤ 今後の想定スケジュールについて



# 1 庁舎整備の取組について

## (1) 新庁舎整備基本設計業務

### ⑥ 基本設計検討懇話会について

基本設計のとりまとめに向け、学識経験を有する者からその意見を聴取すること（会議又は個別聴取）を目的に設置。なお、会議は公開で行う。

#### ○ 第1回／基本設計検討懇話会（6月下旬から7月初旬を予定）

基本設計の素案のとりまとめに向けて、その内容について意見聴取を個別で行う予定。

氏名	分野	所属・役職	備考
麻生 美希	都市計画	同志社女子大学 生活科学部 教授	R3・4懇話会 R5専門家 R6・7懇話会
石原 凌河	防災	龍谷大学 政策学部 准教授	R6・7懇話会
是永 美樹	建築(計画)	京都女子大学 家政学部 准教授	R3・4懇話会 R5専門家 R6・7懇話会
高田 豊文	建築(構造)	滋賀県立大学 環境科学部 教授	R3・4懇話会
近本 智行	建築(設備)	立命館大学 理工学部 教授	R3・4懇話会 R6・7懇話会
宗田 好史	都市計画	関西国際大学 国際コミュニケーション学部長 観光学科 教授	R5専門家 R6・7懇話会
村上 修一	公園	滋賀県立大学 環境科学部 教授	R6・7懇話会

※なお、全員が大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会の外部委員。

# 1 庁舎整備の取組について

## (1) 新庁舎整備基本設計業務

### ⑦ 市民ワークショップについて

基本設計のとりまとめに向けて、市民の皆様からその意見を聴取することを目的に実施。

### ○ 参加者の募集方法（案）について

#### <一般参加者>

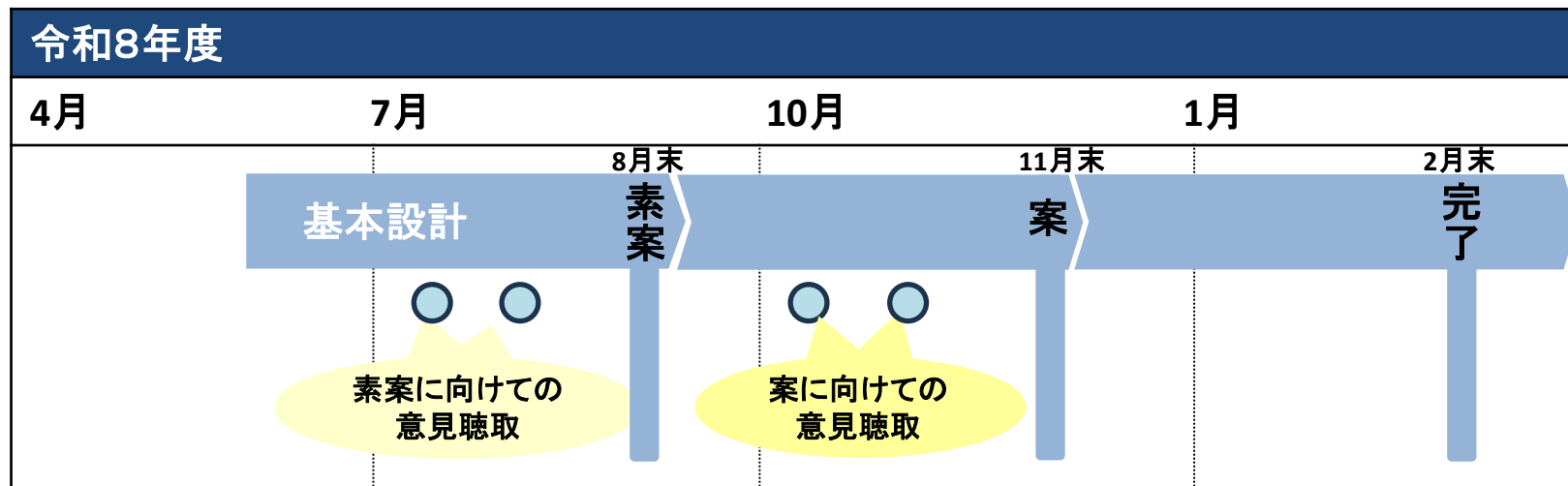
ア 募集方法：無作為抽出した方及び前回の市民ワークショップに参加された方からの募集を検討（20人程度）

イ 無作為抽出の条件：高校生以上／3,000人 ※人口の学区、比率等を適用

#### <学生参加者>

ア 中高生を対象に募集を検討（10人程度）

### ○ スケジュール（案）



# 1 庁舎整備の取組について

## (2) 文書管理適正化支援業務

### ①大津市新庁舎整備における文書管理適正化支援業務

- 委託金額** : 21,956,000円(税込)
- 委託期間** : 令和8年4月10日～令和10年3月31日
- 業務目的** : 本市の新庁舎整備にあわせて、新庁舎にて管理する文書量を最小限(ムダを持ち込まない)とするために実施する文書管理適正化の取組について必要な支援を行うことを目的とする。
- 業務内容** :  
ア 公文書管理制度及び運用の見直し支援  
イ 文書削減整備計画の策定及び文書削減整備支援
- 発注方式** : 公募型プロポーザルによる随意契約
- 審査機関** : 大津市新庁舎整備における文書管理適正化支援業務プロポーザル審査委員会

# 1 庁舎整備の取組について

## (2) 文書管理適正化支援業務

### ア 業務の背景と課題

- ・ライフサイクル管理の不遵守
- ・ペーパーレス化の不十分
- ・執務環境の悪化
- ・情報公開への支障
- ・取り組みの不明確さ



### イ 目標設定

- ・フリーアドレスオフィスの実現
- ・クリアデスクの実現
- ・ライフサイクル管理の確立
- ・情報公開請求へのスムーズな対応
- ・ペーパーレスによる業務効率化

### ウ 目標達成への3つのSTEP

#### STEP 01: 現状把握 (令和8年度)

##### ・文書量調査

執務室や倉庫、書庫に保管されているファイル、書籍、冊子を数値化することで、市全体、所属、職員の保有量を算出。

##### ・削減目標の策定

文書量調査の数値を基に削減目標値、削減値を設定。削減だけでなく、書庫移管や電子化を全て合わせた目標値の設定が実現に繋がる。

#### STEP 02: 改善

(令和9年度)

- ・文書削減
- ・ルール化
  - ▶文書取扱規程等の改正
  - ▶各種マニュアルの作成
- ・説明会・研修の実施
- ・ペーパーレス化の推進

#### STEP 03: 継続

- ・定期的な監査と研修  
ライフサイクル管理や運用ルールを徹底し、紙文書のリバウンドを防ぐ。

### エ 取組後の状態

- ・整頓された執務室と書庫
- ・確立されたライフサイクル管理
- ・スムーズな情報公開
- ・業務効率の向上



# 1 庁舎整備の取組について

## (3) 令和8年度庁舎整備推進本部体制

### ① 令和8年度庁舎整備推進本部について

開催回	開催日時	概要
第32回	令和8年5月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進本部体制・運営及び全体スケジュール</li> <li>○個別検討PTの検討ロードマップ、個別タスク方針（案）等の作成について</li> <li>○その他懸案事項の洗い出しについて</li> <li>○中財・概算（庁舎整備関連）について</li> <li>○クリアデスクの徹底について</li> </ul>
第33回	令和8年6月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設計提案の説明（設計事業者）</li> <li>○文書適正管理・文書削減の説明（委託事業者）</li> <li>○書かない窓口の事例紹介</li> </ul>
第34回 （予定）	令和8年7月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別検討PTの検討ロードマップ、個別タスク方針（案）等の報告（予定）</li> <li>○その他懸案事項の方針（案）の報告（予定）</li> <li>○中財・概算（庁舎整備関連）の報告（予定）</li> <li>○クリアデスクの状況報告（予定）</li> </ul>
第35回 （予定）	令和8年8月28日	<p>※議題については、事業の進捗に合わせて設定予定。</p>
第36回 （予定）	令和8年10月13日	
第37回 （予定）	令和8年11月5日	
第38回 （予定）	令和8年12月1日	
第39回 （予定）	令和9年2月2日	
第40回 （予定）	令和9年3月1日	

# 1 庁舎整備の取組について

## (3) 令和8年度庁舎整備推進本部体制

### ② ワーキングチーム等について

#### <概要>

#### 令和7年度

ワーキングチーム
①庁舎整備事業調整WT
②オフィス環境検討WT
③公文書管理制度WT
④窓口サービスWT
⑤庁舎整備によるまちづくり検討WT
⑥新館の活用検討WT
⑦明日都浜大津の活用検討WT

#### 令和8年度

ワーキングチーム (全庁的な検討)
① 庁舎整備事業調整WT ・用地取得 ST ・市道兼園路整備 ST ・京阪大津市役所前駅の利便性向上検討 ST
② 公文書管理制度WT ・文書削減推進 ST ・業務効率化に係るスキャナー活用検討 ST ・公文書廃棄方法検討 ST
③ 市民サービス検討WT ※支所含む。 ・書かない窓口導入 ST ・総合案内・相談窓口 ST
マインドセット改革推進チーム “やらせる組織” → “自らやる組織”
① スマートワーク推進チーム ※筆頭課課長
② 内部モニタリング活用検討チーム

WT…ワーキングチーム ST…サブチーム PT…プロジェクトチーム

個別検討プロジェクトチーム	
①防災力向上検討 PT	⑤レイアウト調整 PT
②市民交流スペース・広場・公園活用・情報発信検討 PT	⑥ZEB・LCC 検討PT
③働き方・働く環境改革(CASBEE/庁内緑化)検討 PT	⑦生産性向上に係る業務マニュアルの管理・活用における AI 可能性検討 PT
④障害者にとっても利用しやすく働きやすい庁舎検討 PT	⑧本庁・支所で提供している行政サービス全般のあり方検討 PT
個別タスク	
①財源確保の方針	⑥駐車場の有料化の方針
②電話・FAX・コミュニケーションツール全体最適化の方針	⑦議会・議場のあり方の方針
③将来を見据えた新庁舎における情報・DX 基盤の方針	⑧技術系総合窓口のあり方の方針
④事務サポートセンターの拡充方針	⑨文房具・コピー用紙一元管理・複合機削減等マグネットスペースのあり方の方針
⑤駐車場・公用車管理の方針	
関連個別タスク	
①新館を核とした子ども関連機能のあり方の方針	③明日都浜大津を核とした公マネの方針
②新館活用の方針	④新庁舎・新館・皇子山総合運動公園の包括管理の方針

# 1 庁舎整備の取組について

## (3) 令和8年度庁舎整備推進本部体制

### <ワーキングチーム>

名称	概要	これまでの主な取組	令和8年度の開催状況
<b>① 庁舎整備事業調整WT</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得ST</li> <li>・市道兼園路整備ST</li> <li>・京阪大津市役所前駅の利便性向上検討ST</li> </ul>	○庁舎整備に向けて関係所属が所管する申請・届出等の手続や工事に関する調整を行う。	○新庁舎建設に係る用地取得、市道認定、開発協議等のスケジュール調整	<b>【第5回】</b> 令和8年6月3日
<b>② 公文書管理制度WT</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文書削減推進ST</li> <li>・業務効率化に係るスクリーナー活用検討ST</li> <li>・公文書廃棄方法検討ST</li> </ul>	○文書管理の適正化の取組を推進する。	○公文書管理制度に係る検討 ○現行文書管理制度の課題整理 ○庁舎整備を見据えたペーパーレス化の推進	<b>【第8回】</b> 令和8年4月21日
<b>③ 市民サービス検討WT</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書かない窓口導入ST</li> <li>・総合案内・相談窓口ST</li> </ul>	○新庁舎及び支所における将来を見据えた、来庁、案内、相談、総合窓口、市民サービス全般のあり方を検討する。	○ワンストップ、書かない窓口を見据えた「窓口体験調査」の実施 ○総合窓口化、書かない窓口を見据えた「おくやみ窓口」の利便性向上	<b>【先進地視察】</b> ・桑名市 令和8年5月26日

# 1 庁舎整備の取組について

## (3) 令和8年度庁舎整備推進本部体制

### <個別検討プロジェクトチーム>

名称	概要
① 防災力向上検討PT	○新庁舎と隣接する公園、新庁舎周辺広場及び1階ピロティ部分の駐車場を一体的に活用することや新館との連携による防災拠点としての機能向上について検討を行う。
② 市民交流スペース・広場・公園活用・情報発信検討PT	○市民交流スペース・広場・公園活用に係る機能やレイアウトの検討を行う。 ○新庁舎における情報発信のあり方の検討を行う。
③ 働き方・働く環境改革（CASBEE／庁内緑化）検討PT	○新庁舎における働き方・働く環境改革（CASBEE／庁内緑化）の検討を行う。
④ 障害者にとっても利用しやすく働きやすい庁舎検討PT	○障害者にとっても利用しやすく働きやすい庁舎検討を行う。 ○設計段階でのユニバーサルデザインチェックや当事者との意見交換などの企画・実施についても検討を行う。
⑤ レイアウト調整PT	○基本設計におけるレイアウト検討において『スマートワーク推進チーム』を活用した調整を行う。
⑥ ZEB・LCC検討PT	○新庁舎のZEB化（ZEB Ready）及び省エネ・省CO2でLCC（ライフサイクルコスト）の削減に向けた検討を行う。
⑦ 生産性向上に係る業務マニュアルの管理・活用におけるAI可能性検討PT	○生産性の向上に係る各種業務マニュアルの整理整頓作業やその後のメンテナンスの効率化も含めてAIの活用可能性について検討を行う。
⑧ 本庁・支所で提供している行政サービス全般のあり方検討PT	○手続・届出等の市民サービス以外の本庁・支所で提供している行政サービス全般のあり方の検討を行う。

# 1 庁舎整備の取組について

## (3) 令和8年度庁舎整備推進体制

### <個別タスク>

名称	概要
① 財源確保の方針	○庁舎整備に伴う財源の確保の方針検討を行う。
② 電話・FAX・コミュニケーションツール全体最適化の方針	○大津市全体として電話・FAX・コミュニケーションツールの全体最適化の検討を行う。
③ 将来を見据えた新庁舎における情報・DX基盤の方針	○新庁舎での情報ネットワークや将来を見据えたDX基盤のあり方の検討を行う。
④ 事務サポートセンターの拡充方針	○新庁舎に伴う業務・事務改善の取組と連動した事務サポートセンターの拡充について検討を行う。
⑤ 駐車場・公用車管理の方針	○来庁者用駐車場、公園利用者用駐車場、公用車駐車場（企業局、消防局含む。）、議員用駐車場の管理のあり方の検討を行う。
⑥ 駐車場の有料化の方針	○駐車場・公用車管理あり方検討と併せて、駐車場の有料化の検討を行う。
⑦ 議会・議場のあり方の方針	○新庁舎における議会・議場のあり方の検討を行う。
⑧ 技術系総合窓口のあり方の方針	○業務効率、利便性及びセキュリティの向上を目指し、新庁舎での技術系総合窓口のあり方の検討を行う。
⑨ 文房具・コピー用紙一元管理・複合機削減等マグネットスペースのあり方の方針	○働き方・働く環境改革に伴う文房具・コピー用紙一元管理・複合機削減等マグネットスペースの検討を行う。

# 1 庁舎整備の取組について

## (3) 令和8年度庁舎整備推進体制

### <関連個別タスク>

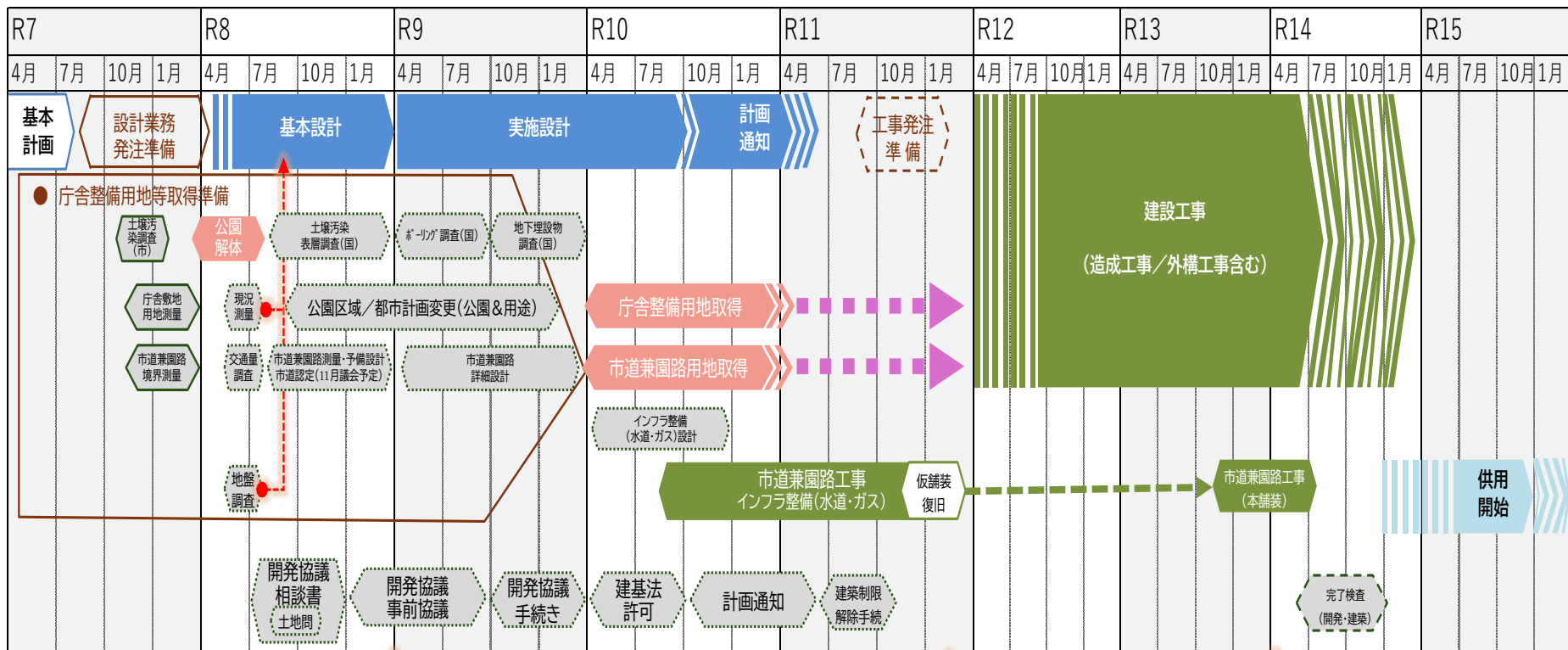
名称	概要
① 新館を核とした子ども関連機能のあり方の方針	○庁舎整備を契機に「新館を乳幼児健診に活用」することを前提とした子ども関連機能の集約の検討を行う。
② 新館活用の方針	○新館活用に係る調整を行う。
③ 明日都浜大津を核とした公マネの方針	○明日都浜大津の空きスペースの活用検討において、公共施設マネジメントの観点から集約化・複合化などの検討も行う。
④ 新庁舎・新館・皇子山総合運動公園の包括管理の方針	○庁舎と公園の一体利用を円滑に行うにあたり、新庁舎・新館・皇子山総合運動公園の包括管理のあり方について検討を行う。

### <マインドセット改革推進チーム>

名称	概要
① スマートワーク推進チーム	○新庁舎整備に向けて行う全庁的な取組（クリアデスク、文書削減等）を各部局において確実に実施する。
② 内部モニタリング活用検討チーム	○新庁舎整備に向けて行う全庁的な取組（クリアデスク、文書削減等）は各所属長が率先して行うことが重要であり、意識を高めるきっかけとして、既存の内部モニタリングを活用することについて検討を行う。

# 1 庁舎整備の取組について

## (4) 庁舎整備事業全体スケジュール (想定)



※用地の取得時期や造成工事等によりスケジュールに変更が生じる場合があります。

※公園整備に係るスケジュールは別途整理を行います。